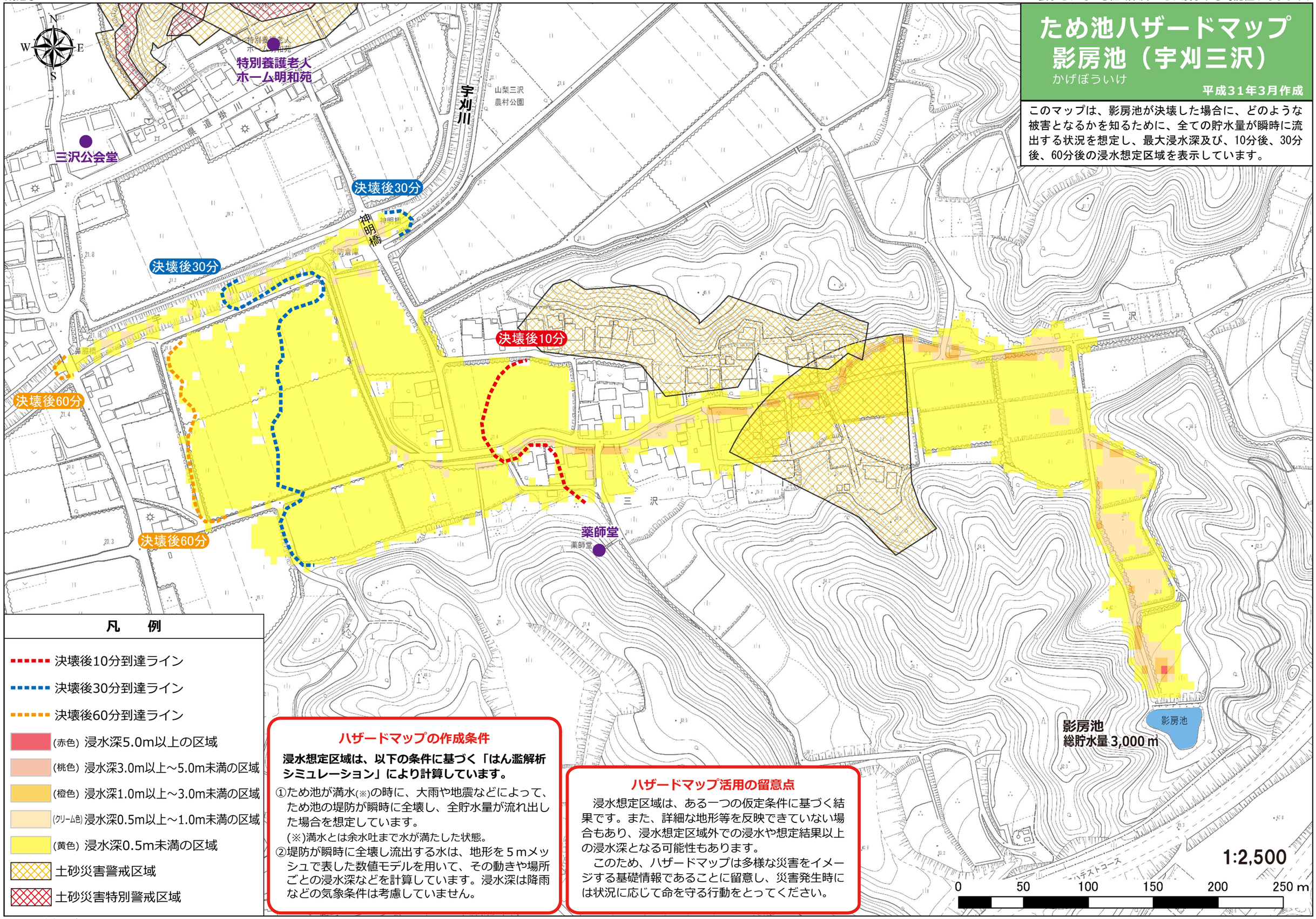
表示されている区域以外にも、浸水する可能性があります。

ため池ハザードマップ
影房池（宇刈三沢）
かげぼういけ

平成31年3月作成

このマップは、影房池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、最大浸水深及び、10分後、30分後、60分後の浸水想定区域を表示しています。



凡　例

- 決壊後10分到達ライン
- 決壊後30分到達ライン
- 決壊後60分到達ライン
- (赤色) 浸水深5.0m以上の区域
- (桃色) 浸水深3.0m以上～5.0m未満の区域
- (橙色) 浸水深1.0m以上～3.0m未満の区域
- (クリーム色) 浸水深0.5m以上～1.0m未満の区域
- (黄色) 浸水深0.5m未満の区域
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

ハザードマップの作成条件

浸水想定区域は、以下の条件に基づく「はん濫解析シミュレーション」により計算しています。

①ため池が満水(※)の時に、大雨や地震などによって、ため池の堤防が瞬時に全壊し、全貯水量が流れ出した場合を想定しています。
(※)満水とは余水吐まで水が満たした状態。

②堤防が瞬時に全壊し流出する水は、地形を５ｍメッシュで表した数値モデルを用いて、その動きや場所ごとの浸水深などを計算しています。浸水深は降雨などの気象条件は考慮していません。

ハザードマップ活用の留意点

浸水想定区域は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。また、詳細な地形等を反映できていない場合もあり、浸水想定区域外での浸水や想定結果以上の浸水深となる可能性もあります。

このため、ハザードマップは多様な災害をイメージする基礎情報であることに留意し、災害発生時には状況に応じて命を守る行動をとってください。

裏面もご覧ください。